

1. 調査報告概要表

作成日 平成 19年 10月20日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3471503692
法人名	有限会社 どんぐり村
事業所名	グループホーム どんぐり村
所在地	広島県福山市今津町仲間1456番地1 (電 話) 084-933-6138
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成19年10月16日

【情報提供票より】(19年8月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
利用定員数計	9 人
常勤	3 人
非常勤	7 人
常勤換算	人

(2) 建物概要

建物構造	木 造
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4) 利用者の概要(8月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名	
要介護1		名	要介護2		名	
要介護3		名	要介護4		名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	歳	最低	歳	最高	歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	金原医院 ひろおか医院 荒木歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームどんぐり村は川土手の道に面し、四季折々の自然が感じられる静かな環境の保たれている住宅地に位置しています。建物の前庭は広く家庭菜園にも利用され、入居者の楽しみの場所にもなっています。永年特養勤務の経験を持つ管理者が、認知症介護への熱意で創設したホームは、温かい穏やかな雰囲気で開催されて、入居者はゆったりと落ち着いた時間が保たれていると感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	「ゆっくり、楽しく、自分らしく」という理念は前回と同じく職員に共有されて、温かさや穏やかさの兼ね備わった施設の雰囲気である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者が積極的に取り組み、外部評価を受け入れることによる他からの視点を積極的に検討する姿勢が受け取れる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	施設として運営推進会議の討議内容に物足りなさを感じているが、より有意義にする為に具体的な問題提議がされることが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	1ヶ月に1回のホーム便りや電話で家族と親密に連絡が取られていて、家族よりの厚い信頼を得ている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会長や町内の高齢者、又幼稚園児などが立ち寄られる場所となっているので良好な連携が保たれている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、楽しく、自分らしく」を理念として、職員は1人ひとりの行動にさり気なく寄り添って支援している。チームプレイの支援も自然体で行われている情景も見受けられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、事務所、2階に理念は明示され、入居者の日々のコミュニケーションの様子は個人別ケース記録簿に記載され全員で共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会長は度々立ち寄られ、入居者や職員と談笑される。敬老会やお祭りなどの町内行事への参加の誘いも度々あり、清掃等にも参加している。近隣者が高齢者や認知症の問題の相談に立ち寄られることもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は評価員に協力的であり、外部の情報を得ることに積極的である。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は行っているが、地域の出席者よりは格別な意見は今のところ出なく、施設側の一方的な説明に終り勝ちである。		施設としての方針や運営上の困難な点等、具体的に問題提議などして、推進会議で検討されサービスの向上に活かされる事を望みます。

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターとの連絡は取っているが、包括センターが多忙の様子で時間をとって話し合いを行う運びとなっていない。		今後も努めて積極的に行き来の機会を作られることを望みます。
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームでの生活の情景を写した写真入のホーム便りが毎月発行され、家族に送られ又電話も度々されて、きめ細かい連絡がされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問は多いほうでその度に親しく家族と対話し、要望を聞いている。現在家族と連絡をとりながら看取りの支援を行っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者ひとり1人に担当は決めているが1ユニット内なので全員で公平に接しているので現在までダメージを起こされたことはない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の研修への参加を積極的に勧めているが、市等の主催する研修に応募するも定員漏れすることがある。ミーティングで管理者が常に指導を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流や研修会への同行参加等で情報交換や意見交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所に至るまでの本人の生活の様子や経歴を家族より十分に聞き取りをし管理者、職員で共有した上で支援の計画を立て、毎日の生活を入居者本位に合わせている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は入居者の自己選択に合わしながら、生活の中の作業などをやり終えた時には、謝意の言葉を伝えている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	毎日の生活会話の中で交わされた、思いや希望を連絡ノートに記して共有し、食事のメニューや買い物等の支援の参考に役立たせている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ケース記録、連絡ノートを基に担当者を主体としたミーティングを行いよりよい支援の意見を出し合い、家族との意見調整も行って介護計画は立てられている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	日常の介護支援の中で担当者を中心に変化を見逃すことなく記録しミーティングを行い、其の都度家族と相談しつつ計画を変更している。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム前の菜園の管理、川岸の散歩、買い物、お花見等入居者の要望を基に活動を起こしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の定期受診に加え容態の変化に応じて往診や家族同行の受診を支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けては家族、かかりつけ医と十分に相談し対応され、管理者職員全体で共有されている。現在1名の入居者は家族の希望もあり看取り体制の支援がされている。看取り体制である為、管理者は特に無休で支援されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は優しい声掛けでさり気なくトイレ誘導をされていた。入居者の行動にゆっくりと寄り添い、要望を引き出す言葉が添えられ、又優しい励ましやお礼の言葉が常に添えられている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のコミュニケーションが良くとれ入居者への手助けの手代わりがスムーズに行われている情景が見受けられた。日常の支援の細やかさが受け取れた。徘徊にも玄関は開放されて時間をかけて付き添っていると説明された。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者のテーブルの中に一緒に座り、見守りと手助けを行いながら、食事を摂っている。食事後のかたづけを毎日日課として居られる入居者は、職員と共に楽しそうに立ち働いておられた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームの基本は希望に沿った入浴に応じているが、現状(看取り介護中の方がおり)では職員の交替が不能になることがあり、ホームの支援が十分出来ないことがある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の下準備の皮むきや枝豆とりを熱心にされる方、洗濯物の取り入れをされる方、それぞれ活動されている方々が見受けられ、職員は常に励ましや謝意の言葉を伝えている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム前の川土手道の散歩は日常的に行われ、美容院、カラオケ、買い物の支援が度々行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居間は開放的で、玄関は施錠は無く自由に出入りが可能で時折入居者は戸外に出られているが、職員室やリビングよりの見通しが良い為、見守りは十分行われている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導を受け年間2～3回マニュアルを基に避難訓練を行っている。町内会長や近隣の人々がホームに立ち寄られることもあり協力的である。		

グループホームどんぐり村

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量水分量は記録されて職員で共有し補足する体制である。職員は同じテーブルで食事を摂りつつ、声掛けして美味しく食べる雰囲気づくりをし、自立困難の方には介助をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には大きな花瓶に季節の花が活けられ、居間の壁面も秋の雰囲気が演出されていた。居間に続く木製の広いベランダは自由に出入りが出来、物干しや野外での良き居場所となっている。居間には大型テレビが備え付けら3～4人の方がゆったりとした時間を楽しんでいた。		廊下の照明をいま少し明るく。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝入居者が居室を離れ居間に出られた時間は居室の換気が一斉に行われている。居室には使い慣れた小型ケース等が置かれ入居者の好みのレイアウトがされている。居室のロッカーは深く入居者の持ち物の保管が十分にされ、居室の空間が広く保たれている。		